

戸沢村のうつりかわり

明治

学校のうつりかわり

明治7年

- 神田（清林寺）、津谷（太子堂）、名高（共有地）、古口（善念寺）、角川（広際院）、蔵岡（大善院）、岩清水（正念寺）に各学校ができる

村やくらしのうつりかわり

明治8年

- 最上川大洪水がおきる
- 津谷郵便局かいせつ

明治11年

- いわね新道できる

明治12年

- 最上川大洪水がおきる（200戸流失）

明治14年

- 古口郵便局かいせつ

明治17年

- 神田学校が上松坂に分教場を置く

明治19年

- 古口学校、古口尋常小学校と改称する

明治19年

- 名高村、神田村が合併し戸沢村となる

明治20年

- 松坂分教場、松坂簡易小学校となる
- 岩清水水学校、名高簡易小学校に統合

明治21年

- 古口新道ができる

明治22年

- 最上川を蒸気船が走る
- 古口駐在所かいせつ

明治23年

- 古口村、蔵岡村、角川村が合併し古口村となる

明治25年

- 名高簡易小学校・神田簡易小学校・津谷簡易小学校、松坂簡易小学校それぞれ尋常小学校と改称

明治25年

- 角川村、古口村より分村
- 津谷大火おきる

明治26年

- 虫害と洪水のため大凶作となる

明治27年

- 角川簡易小学校、角川尋常小学校と改称

明治33年

- 戸沢高等小学校できる

明治34年

- 名高尋常小学校、津谷尋常小学校、松坂尋常小学校、神田簡易小学校が統合し戸沢尋常小学校となる
- 津谷、松坂、神田とも分教場となる

明治37年

- 古口尋常小学校と古口高等小学校を統合し古口尋常高等小学校となる

明治38年

- 角川尋常小学校、片倉に分教場を置く

明治39年

- 最上川大洪水がおきる

明治40年

- 戸沢尋常小学校と戸沢高等小学校を統合し戸沢尋常高等小学校となる
- 津谷に分教場、松坂に仮校舎を置く
- 神田分教場、神田尋常小学校となる

戸沢村のうつりかわり

大 正

学校のうつりかわり

村やくらしのうつりかわり

大正 2 年

- 古口駅ができる

大正 3 年

- 陸羽西線が開通する
- 津谷駅ができる

大正 5 年

- 戸沢尋常小学校鞭打野に新築移転
(現在地)

大正 8 年

- 津谷駐在所設置

大正 10 年

- 角川尋常小学校、角川尋常高等小学校
と改称

大正 11 年

- 古口尋常小学校、沓喰、柏沢に分教場を
置く

大正 11 年～13 年

- 村の一般の家庭に電灯がつく

大正 13 年

- 古口尋常小学校、土湯と外川に分教場
を置く
- 片倉分校を移転し上沢分校とする

大正 15 年

- 角川郵便局開局

戸沢村のうつりかわり

昭和

学校のうつりかわり

昭和 11 年

- 蔵岡尋常小学校、古口尋常小学校と統合になり分校となる

昭和 12 年

- 古口尋常小学校真柄に移転（現在地）

昭和 16 年

- 尋常小学校、（古口、角川、戸沢）国民学校と改称

昭和 17 年

- 神田分教場、本校から分離独立し戸沢村第二国民学校となる

昭和 22 年

- 国民学校は小学校と改称される
- 分教場がそれぞれ、分校となる
古口小学校、栃台に分校を置く
戸沢中学校（向名高）、古口中学校（真柄）、角川中学校（上本郷）にできる

昭和 23 年

- 古口小学校、岩花分校を置く

昭和 24 年

- 古口小学校給食始まる

昭和 29 年

- 古口中学校に製パン工場できる
- 栃台分校閉校する

昭和 30 年

- 村合併で学校は戸沢村立となる

昭和 31 年

- 岩花分校が閉校し、学区変更により戸沢小学校学区となる

昭和 32 年

- 角川中学校新築移転する

昭和 36 年

- 神田小学校風害により校舎倒壊
新築移転する

昭和 41 年

- 古口小学校、土湯分校を白糸分校と改称

昭和 44 年

- 古口小学校、沓喰分校閉校する

昭和 46 年

- 古口小学校、プール完成する
- 古口中学校と戸沢中学校が合併し「戸沢中学校」となる

昭和 48 年

- 角川小学校、プール完成する
- 戸沢中学校、上の山に新築移転

昭和 48 年～49 年

- 村内各小学校創立百年祭おこなわれる

昭和 49 年

- 戸沢小学校、プール完成する

昭和 50 年

- 神田小プール完成する

昭和 56 年

- 古口小改築工事完成する

昭和 58 年

- 角川小改築工事完成する（現在地）
- 古口小白糸分校休校になる

村やくらしのうつりかわり

昭和 8 年

- 大柳開墾なる

昭和 12 年

- 古口郵便局に電話がはいる
- 最上川大洪水がおきる

昭和 13 年

- 角川に国民健康保険組合できる
全国許可第一号

昭和 15 年

- 古口営林署が設置される

昭和 19 年

- 最上川大洪水により15戸が流失

昭和 20 年

- 第二次世界大戦終わる

昭和 22 年

- 日本国憲法施工
- 六・三制発足

昭和 23 年

- 各学校にPTA結成

昭和 24 年

- 名高大門工事竣工

昭和 26 年

- 観光船第一最上丸が就航

昭和 27 年

- 角川にバス運行開始

昭和 30 年

- 戸沢村・古口村・角川村三か村が合併し戸沢村となる
- 戸沢村にテレビがはいる
- 最上川大洪水がおきる

昭和 31 年

- 最上川大洪水がおきる

昭和 32 年

- 最上川大洪水がおきる

昭和 36 年

- 第二室戸台風で大きな被害をうける
- 鞭打野開田が完成する

昭和 37 年

- 古口地内の国道が舗装される

昭和 39 年

- 戸沢橋ができる

昭和 42 年

- 古口大橋ができる

昭和 45 年

- 角川・古口簡易水道ができる
- 柏沢渡舟場付近で渡舟転覆
教師二名殉職

昭和 46 年

- 古口特殊堤防・排水機場完成する

昭和 50 年

- 金打坊橋できる

昭和 51 年

- 古口農協・角川農協が合併し戸沢村農協となる
- 角川集中豪雨で被害うける

昭和 52 年

- 戸沢地区簡易水道できる
- 戸沢村役場新庁舎できる

昭和 54 年

- 戸沢村中央公民館できる

昭和 56 年

- 国設最上川スキー場できる

昭和 57 年

- 古口営林署統廃合される
- 戸沢村保険センターできる

昭和 58 年

- ナイター照明村野球場できる

昭和 59 年

- 農林環境改善センターできる

昭和 60 年

- 若者センターできる
- 「清流園」できる
- 村の木《山の内杉》
村の花《ヒメサユリ》指定される

昭和 61 年

- 戸沢農協・戸沢村農協が合併し戸沢村農協となる

戸沢村のうつりかわり

平成・令和

学校のうつりかわり

平成 12 年

- 戸沢小学校、グラウンド改修工事（暗渠排水）・コンピュータ室完成
- 古口小学校、コンピュータ室完成

平成 13 年

- 神田小学校、杉沢冬季分校廃校

平成 14 年

- 神田小学校、グラウンド夜間照明灯設置
- 角川小学校、プール脇に畑を開墾

平成 19 年

- 角川小学校、体育館屋根葺き替え工事

平成 21 年

- 古口小学校、学校プールの代わりにぼんぼ館を使用

平成 25 年

- 戸沢小学校・古口小学校・角川小学校・神田小学校閉校
- 村内4つの小学校を統合した新制の戸沢小学校の開校式

平成 28 年

- 戸沢学園、学校校舎完成

平成 29 年

- 戸沢学園、校舎一体型小中一貫教育校として開校

平成 30 年

- 戸沢学園、グラウンド完成

令和元年

- 戸沢学園、相撲の土俵完成

村やくらしのうつりかわり

平成元年

- 戸沢村中央診療所できる
- フィリピンのジェネラル・トリアス市と姉妹都市の締結をする

平成 4 年

- 第47回べにばな国体が開催される

平成 5 年

- 「とざわスポレク祭り」はじまる

平成 6 年

- 角川にゴルフ場オープンする

平成 7 年

- 眺河の丘に展望台できる
- いきいきランド「ぼんぼ館」オープンする
- 村民憲章できる

平成 14 年

- 完全学校週5日制、総合的な学習はじまる
- 最上8市町村平成の大合併議論はじまる
- 天皇皇后両陛下陸羽西線行幸啓
- 戸沢村通学合宿はじまる（古口、真柄、蔵岡）

平成 15 年

- 角川地区携帯電話通話エリアに
- 市町村合併見送りを決定する

平成 16 年

- 集中豪雨（蔵岡地区避難勧告187名避難）
- 産直施設「農楽市」オープン
- 古口大橋自歩道橋開通
- 太鼓フェスティバルはじまる

平成 17 年

- 市政施行50周年記念式典

平成 18 年

- 戸沢出張所、角川出張所を廃止

平成 19 年

- 最上地区広域連合が始動（金山町、真室川町、戸沢村、大蔵村、鮭川村）
- 総合型地域スポーツクラブ「ふれスポCha³」
- 古口消流雪溝完成

平成 20 年

- 日韓ひろばオープン
- 新庄市、真室川町、戸沢村、鮭川村、合併に向けた任意協議会を設置

平成 21 年

- 合併について村民意向調査を実施し、7月に見送りが決定

平成 22 年

- 村営バスが予約制（デマンド化）に移行
- 村内全域に光ファイバーによる高速通信網を整備

平成 23 年

- 東日本大震災発生
- 全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始
- とざわ旬の市はじまる

平成 24 年

- 戸沢小中学校校歌・校章が決定
- 「エリアメール」、「緊急速報メール」をスタート

平成 25 年

- ドクターヘリの運航開始
- 4つの小学校、2つの中学校で閉校式を開催
- 統合戸沢小・戸沢中学校開校
- 戸沢中学校新校舎竣工
- 放課後児童クラブ（学童保育）を中央公民館に開設
- 本郷地区で地滑り災害発生（6世帯18人に避難勧告）
- 戸沢中学校体育館完成
- 古口駅新駅舎完成

平成 26 年

- 陸羽西線開業100周年（大正2年12月7日開業）
- 中央診療所、医薬分業により薬が院外処方に移行
- 戸沢中3年生による村への提言はじまる

平成 27 年

- 「角川雪回廊物語」はじまる
- 新庄市を「中心市」とする新庄最上定住自立圏形成協定を締結
- 市政施行60周年記念式典を実施

平成 28 年

- マイナンバー制度はじまる
- 国道47号古口新庄道路古口大橋ボルト締結式
- 戸沢小学校・戸沢中学校の総称を「戸沢学園」に決定
- 戸沢小学校棟完成

平成 29 年

- 戸沢小学校・戸沢中学校開校式
- みんなですっぺ！健康づくり保健センターにオープン
- 新戸沢保育所完成

平成 30 年

- 新戸沢保育所開所
- 新戸沢駐在所落成式
- 国道47号新庄古口道路（津谷～古口間）開通
- 2回にわたる豪雨災害発生
- 8月5～6日、24時間で366mmの観測史上最高を記録
- 村内全域に避難勧告

平成 31 年

- 旧神田小学校が戸沢村生涯学習センターとしてスタート